

林福連携によるしいたけ生産

しいたけの収穫の様子
(写真提供：フラワーパークのぞみ工房)



種菌の播付作業の様子
(写真提供：フラワーパークのぞみ工房)



8 働きがいも
経済成長も



11 住み続けられる
まちづくりを



近年、きのこや山菜といった山の恵みを活かした地域活性化の取組が、様々な人々が参画する形で広がりを見せています。そのような中、林業と福祉が連携して、障がい者が林業分野に参画する「林福連携」の取組も各地で見られます。この取組は、働きがいや経済成長、住み続けられるまちづくりの実現といったSDGsの目標につながります。

乾しいたけの加工・販売を手がける宮崎県高千穂町の株式会社杉本商店は、障がい者の就労支援を行う日之影町社会福祉施設「フラワーパークのぞみ工房」と連携して、しいたけを生産しています。同商店では生産者の高齢化による人手不足に悩んでおり、また、同工房では利用者の収入増加につながるとしており、双方にメリットがある状態となっています。さらに、同工房は、今年から別の生産者の植菌作業を行い、取組を拡大させています。